

平成27年度 事業別予算概要

事業名 20100 事務	総務行政事務費		予算 内線 2453	会計 1 一般会計	総合計画	基本目標 6 みんなでつくる持続可能なまち	根拠計画	市長公約	市政の透明性を確保するため、様々な媒体を利用した情報公開を積極的に進めます
	款 2 総務費	基本分野 6 協働・行政		実施計画事業					
担当課	企画管理部 総務課		項 1 総務管理費	分野 3 行財政運営	施策概要 1 効率的・効果的な行政運営の推進	H27実施計画額	千円		
			目 1 一般管理費						

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> 市民が条例等を容易に閲覧できるようにする。 市民が容易に行政情報を得ることができるようにする。 	概要	事業の実手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 条例等の改廃を適正に行う。 情報公開制度の適正な運用を行う。
	対象者数 91,605 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H25実績								
<ul style="list-style-type: none"> インターネットでの公開実績 条例・規則・規程等の制定改廃の状況……制定:36件 一部改正:257件 全部改正:1件 廃止:8件 例規集・要綱集更新回数 4回 情報公開実績 請求 44件(公開 15件、部分公開 28件、却下 1件) 								
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	行政情報公開請求から公開決定までの平均処理日数	算出根拠等	公開日までの総日数/件数	目標値	11	11	11	11
				実績(見込)	12	11	11	
					達成率(%)	109	100	100
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
					達成率(%)			
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
					達成率(%)			
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
				達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
				達成率(%)				

3 分析・評価 (Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 行政情報公開請求の簡素化をより一層図るなど、事業の迅速化を図る。(請求頻度の高い種類の情報について調査し、公開事項として整理するよう進める)
--------------------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH26対応状況		行政情報公開請求の簡素化をより一層図るなど、事業の迅速化を図る。
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	引き続き適正な事務の執行に努める。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	55,491	55,911	63,186	78,889
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	598	607	690	861
	受益者	全市民	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<p>条例等の行政情報の積極的な公開を行うほか、高山市情報公開条例に基づく情報公開制度の適正な運用を行う。文書の発送、收受を含め適正な公文書の管理を行う。</p>	要求のポイント	<p>法令等の改廃に迅速に対応するため、例規の整備、更新業務を委託化</p>	事業実施の課題	<p>より開かれた市政の実現を目指して積極的な情報提供等を行うなど情報公開制度の充実を図る。</p>
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		63,186	78,889	15,703	64,677	64,677	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	63,186	78,889	15,703	64,677	64,677		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	20110	公文書館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	6	みんなでつくる持続可能なまち	根拠計画		市長公約
	種別			款	2	総務費		基本分野	6			
担当課	企画管理部 総務課		内線	項	1	総務管理費	分野	1	協働	実施計画事業	公文書館管理事業	
		2453		目	1	一般管理費		施策概要	3		市民との情報共有の推進	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・永年保存しなければならない歴史的な価値がある公文書を保管し、閲覧できるようにする。	概要	事業の実施手法(手段)	・永年保存しなければならない歴史的な価値がある公文書について、目録を作成し、適正に管理する。
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		永年保存、歴史的価値ある公文書について目録を作成し、適正に管理している。						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
		目録の作成件数	件	目標値	500	300	150	100
			実績(見込)	95	80	85		
		算出根拠等	実績	達成率(%)	19	27	57	
	成果指標	公文書館の目録総数	件	目標値	35,000	35,000	35,000	35,000
				実績(見込)	34,596	34,676	34,761	
		算出根拠等	実績	達成率(%)	99	99	99	
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)					
補足	公文書館利用者実績 H25 423人(H24 286人)							

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・現在から将来にかけて市民が知りたいときに容易に情報収集が可能となるよう保存文書の目録の整備をさらに進める。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		・平成26年度から施設の閉館時間を見直し、また、指定管理制度を導入することで効率的な施設運営を行っている。 ・指定管理者と連携しながら、広報等の各種媒体利用、所蔵文書の紹介等により施設の更なる周知を図る。
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・適正に公文書を管理する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	1,751	1,989	2,850	2,840
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	19	22	31	31
	受益者	市民	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	歴史上重要な公文書を適正に保管するとともに、閲覧等市民の利用に供するため施設の管理を行う。	要求のポイント	効率的な施設運営	事業実施の課題	市民等の利用の拡大を図る。
------	---	---------	----------	---------	---------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,850	2,840	△ 10	2,840	2,840	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,850	2,840	△ 10	2,840	2,840		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	20200	職員健康管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	根拠計画	市長公約
	種別			款	2	総務費			
担当課	企画管理部 総務課		内線	項	1	総務管理費	分野	実施計画事業	千円
	2455			目	2	人事管理費		H27実施計画額	
				総合計画			施策概要		

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象) 職員	どうしたいのか (意図)	・健康を維持し公務能率の推進が図られるようにする。	概要	事業の実施手法(手段)	・保健室の運営や職員の定期健康診断、予防接種、メンタルヘルス相談の実施により職員の健康管理の充実を図る。
	対象者数	1,199 人				

2 事業の推移・結果 (Do)

H25実績		<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断(特定業務従事者健康診断を含む)の実施 ・特定職場における予防接種の実施 ・臨床心理士によるリフレッシュ相談、精神科専門医によるメンタルヘルス相談の実施 							
成果面	成果指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27	
	職員定期健康診断の実施	算出根拠等	受診率	目標値	100	100	100	100	
				実績(見込)	99	99	99		
	活動指標	定期健康診断による指導人数	算出根拠等	産業医による指導対象者	達成率(%)	99	99	99	
					目標値				
	活動指標	メンタルヘルス相談等の実施	算出根拠等	リフレッシュ相談、メンタルヘルス相談の実施回数	実績(見込)	210	212	200	
					達成率(%)				
	活動指標	メンタルヘルス相談等の実施	算出根拠等	リフレッシュ相談、メンタルヘルス相談の実施回数	目標値	9	9	9	6
					実績(見込)	10	11	9	
	活動指標	メンタルヘルス相談等の実施	算出根拠等	リフレッシュ相談、メンタルヘルス相談の実施回数	達成率(%)	111	122	100	
目標値									
活動指標	メンタルヘルス相談等の実施	算出根拠等	リフレッシュ相談、メンタルヘルス相談の実施回数	実績(見込)					
				達成率(%)					
活動指標	メンタルヘルス相談等の実施	算出根拠等	リフレッシュ相談、メンタルヘルス相談の実施回数	目標値					
				実績(見込)					
活動指標	メンタルヘルス相談等の実施	算出根拠等	リフレッシュ相談、メンタルヘルス相談の実施回数	達成率(%)					
				目標値					
活動指標	メンタルヘルス相談等の実施	算出根拠等	リフレッシュ相談、メンタルヘルス相談の実施回数	実績(見込)					
				達成率(%)					
補足	定期健康診断により、疾病の早期発見に努めている(目標値は設定していない)								

3 分析・評価 (Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	リフレッシュ相談、メンタル相談ともに希望者の相談を実施しているが、精神科専門医による相談利用者は少ない。また、問題が顕在化してからの相談利用や、相談に結びつかない(表面化しない)ケースも考えられる。早期発見できるケースは早期の対応が可能であるが、対応が遅れることによって、深刻化、長期化していくケースもある。
--------------------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の活用について、引き続き職員周知を行うとともに、定期相談以外に随時相談も受け付ける。 ・こころの健康診断(メンタルヘルスチェック)を実施し、メンタル疾患の早期発見や防止、職員のセルフケア(気づき)を促進し問題化する前に相談に結びつけるなど適切な対策をとる。 		
次年度の実施方針	担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	保健室の運営や職員の定期健康診断、予防接種、メンタルヘルス相談の実施により職員の健康管理の充実を図る。
	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	
	(担当課評価に同じ)		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	11,277	10,727	13,313	13,619
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	9,343	8,984	11,103	11,551
	受益者	職員	(B)	1,207	1,194	1,199	1,179

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・職員健康診断の実施 ・メンタル相談 ・保健室の運営管理 	要求のポイント	職員のメンタルケアのため、ストレス診断を実施	事業実施の課題	・メンタルに不調をきたす職員の増
------	--	---------	------------------------	---------	------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		13,313	13,619	306	13,105	13,105	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	13,313	13,619	306	13,105	13,105		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	20210	人事管理事務費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	6	みんなでつくる持続可能なまち	根拠計画	行政改革大綱・定員適正化計画	市長公約	市役所及び職員の高度化を図るとともに、素早く行動できる行政組織へと改革します
	種別			2	総務費	6		協働・行政	実施計画事業		人事管理事務		
担当課	企画管理部 総務課		内線	項	1	総務管理費	分野	3		行財政運営	H27実施計画額	千円	
	2455	目		2	人事管理費	2		組織・人事管理の充実	施策概要				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰が(対象)	市民	どうしたいのか(意図)	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 職員採用試験及び職員昇任試験の実施 被服の貸与 公務災害への対応 給与等総務事務に関する業務を包括的に委託
	対象者数	91,605 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		<ul style="list-style-type: none"> 採用試験の実施(事務A、技術A(電気)、事務B、消防A・B) 昇任試験の実施 給与関係の総務事務について、包括的な委託を実施 						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	採用試験の広報によるPR(広報たかやま、ヒッツFM、市ホームページ、リクナビ)	回	目標値	6	6	6	6
		実績(見込)	6	5	5			
	算出根拠等	PR回数	達成率(%)	100	83	83		
	成果指標	採用試験の受験者数(事務A)	人	目標値				
		実績(見込)	46	64	55			
	算出根拠等	達成率(%)						
	成果指標	採用試験の受験者数(事務B)	人	目標値				
		実績(見込)	11	12	12			
	算出根拠等	達成率(%)						
	成果指標	昇任試験受験者数	人	目標値	363	376	399	409
		実績(見込)	175	179	142			
算出根拠等	達成率(%)	48	48	36				
活動指標	安全衛生委員会の開催数	回	目標値	3	3	3	3	
	実績(見込)	3	3	3				
算出根拠等	達成率(%)	100	100	100				
活動指標	委託項目数	項目	目標値	81	81	78	78	
	実績(見込)	81	81	78				
算出根拠等	達成率(%)	100	100	100				
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 受験者数に減少傾向が見られることから、人材の確保に向け、就職ガイダンスへの参加や各高校の進路指導担当との面談、広報・HPによる周知を継続して行う。 委託項目の見直しなどさらなる効率化に取り組む必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		<ul style="list-style-type: none"> 就職ガイダンスへの参加や広報・HPによる周知を行うほか、市内の高校へ直接訪問し、企業としてのPRをするなど積極的な働きかけを行う。また、募集受付期間の延長を行う。 職員の退職に応じ、資格等が必要な職種に応じた職員の採用を行う。
次年度の実施方針	担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	(担当課評価に同じ)	
	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な職員採用を実施する。 必要な職種の職員採用を実施する。 委託項目の見直しなどさらなる効率化に取り組む。 	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	77,555	67,206	79,270	79,876
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	835	730	865	872
	受益者	市民	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 育児休業や公務災害などへの対応。被服の貸与 職員採用試験及び職員昇任試験の実施 給与や共済を中心とする総務事務のうち毎月反復して行う業務や毎年行う大量の業務を包括的に委託する 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 合併以降、新規採用を抑制し職員削減に努めてきた結果、職員の年齢構成に偏りが生じており、計画的な職員採用による平準化が必要となっている 昇任試験をとおして試験に向けた自己研さんを促すとともに職員個々の能力を向上させることも重要 給与事務に関する国の制度改正があった場合、委託項目を見直すなど対応が必要である 	事業実施の課題
------	---	---------	--	---------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		79,270	79,876	606	78,186	78,186	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	79,270	79,876	606	78,186	78,186		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	20220	行政改革推進事業費	内線	2454	会計	1 一般会計	基本目標	6 みんなでつくる持続可能なまち	根拠計画	行政改革大綱	市長公約	市役所及び職員の高度化を図るとともに、素早く行動できる行政組織へと改革します
	2 総務費					6 協働・行政		行政改革推進事業				
担当課	企画管理部 総務課			予算	1 総務管理費	基本分野	3 行財政運営	実施計画事業	H27実施計画額	千円		
	2 人事管理費	1 施策概要	1 効率的・効果的な行政運営の推進									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰が(対象)	高山市行政改革推進委員・市職員	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 多様な市民ニーズを的確に反映した質の高い行政サービスが提供される。 限られた行政資源を最大限活かせる機能的な組織体制が整っている。 将来にわたり持続可能かつ計画的で健全な財政運営が行われている。 	概要	事業の実施手法(手段)	行政改革推進委員会の開催
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	平成25年5月に、平成24年度の行革実施項目に対する実績の報告。 平成25年11月に、高山市の現状及び中間報告を実施。								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27	
	活動指標	行政改革推進委員会開催回数		回	目標値	10	10	5	3
		実績(見込)				2	2	3	
		算出根拠等 実績			達成率(%)	20	20	60	
	成果指標	行革取組項目の内、「完了」、「実施」、「一部実施」となった項目数 (「完了」項目は次年度から除く)		件	目標値	188	184	184	
		実績(見込)				148	157		
		算出根拠等 実績			達成率(%)	79	85		
	成果面				目標値				
		実績(見込)							
		算出根拠等			達成率(%)				
	成果面				目標値				
		実績(見込)							
算出根拠等			達成率(%)						
成果面				目標値					
	実績(見込)								
	算出根拠等			達成率(%)					
補足				目標値					
	実績(見込)								
	算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 行政改革に取り組み具体的な項目のうち、計画期間である平成22年度から検討段階のまま方針決定に至っていない項目があり、早期に結論を導き出す必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		<ul style="list-style-type: none"> 課題のある取組み内容については、必要に応じ課長又はリーダーとヒアリングを行うなど進捗管理を行う。 今年度が第5次行革の最終年となるため、検討段階にある項目は方針決定を行う必要がある。
次年度の実施方針	○ 維持・改善	行政改革大綱実施計画に掲げる取組みが着実に推進できるよう進捗管理を行う。
	拡大 縮小 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	268	285	731	731
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	3	3	8	8
	受益者	市民	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	行政改革推進委員会の開催	要求のポイント	事業実施の課題
------	--------------	---------	---------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		731	731	0	441	441	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	731	731	0	441	441		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	20300	職員研修事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	6	みんなで作る持続可能なまち	根拠計画	人材育成基本方針	市長公約	市役所及び職員の高度化を図るとともに、素早く行動できる行政組織へと改革します
	款			2	総務費	基本分野		6	協働・行政		実施計画事業		
担当課	企画管理部 総務課	内線	2455	項	1	総務管理費	分野	3	行財政運営	H27実施計画額		千円	
				目	3	職員研修費	施策概要	2	組織・人事管理の充実				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市職員	どうしたいのか(意図)	限られた行政資源を最大限活かせる機能的な組織体制が整っているようにする。	概要	事業の実手法(手段)	・職員の階層(職務の級)に応じた、「階層別研修」や市民協働の推進などの課題解決に向けた「課題別研修」、「各業務における専門知識習得のための「派遣研修」を行う。
	対象者数					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	階層別研修のほか、接遇力向上研修、住民協働のまちづくり研修などの職員のスキルアップに関する研修や、自治大学校へ派遣研修、消防大学校への資格取得のための研修を実施した。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	職員研修修了者	人	目標値	1,182	1,302	1,190	1,239
				実績(見込)	1,328	1,550	1,210	
				達成率(%)	112	119	102	
	活動指標	長期派遣職員数	人	目標値	14	11	9	8
				実績(見込)	14	11	9	
				達成率(%)	100	100	100	
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
		達成率(%)						
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足	・幅広い分野の知識を直接専門家から学ぶことにより職員の自己啓発意欲を高めるため、8つの大学が開催する専門講座(オープンカレッジin飛騨高山)への研修参加助成を実施 ・喫緊の行政課題等への対応のため、職員の課題認識と情報共有等を目的に担当職員を講師として行う特別課題庁内研修を実施							

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全階層職員に対し幅広く研修機会の提供を行っているものの、自発的参加型の研修については、積極的な職員と消極的な職員との意識の差があるため、指定型研修の実施により職員全体の資質能力の向上を図る必要がある。 ・職員には研修にかかるコストを意識させ、研修効果を上げることが必要である。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・職務の内容や職責、求められる能力・基本的姿勢に応じ、研修の必要な職員に対する指定型研修を実施する。 ・研修内容を職場内の職員で共有(職場内研修)し、全体的な資質の向上を図る。 ・職員には研修にかかるコストを意識させ、研修効果を上げていく。 ・長期派遣が有効なものとなるよう派遣先について検証し見直しを行う。 ・既に継続して派遣している派遣先で、検証の結果今以上に成果が得られないと考えられる場合には、派遣を終了するよう検討する。 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体の意識を高め、能力向上につながる研修を実施する。 ・市の政策に有効な派遣先の検討を行う。
	<input type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	32,395	25,893	27,200	23,046
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	35,289	28,866	31,193	26,429
	受益者	職員	(B)	918	897	872	872

5 予算編成(Action2)

事業内容	・階層別研修、課題別研修、派遣研修、自主研修を行う。 ・国、県、財団法人などに長期の派遣研修を実施。	要求のポイント	・昨年に引き続き語学研修(英会話)を実施	事業実施の課題	・市職員に必要な能力を伸ばすとともにその時々における課題を把握し、より効果的な研修を実施する。 ・毎年、派遣研修先の見直しを行う。
------	---	---------	----------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		27,200	23,046	△ 4,154	22,400	22,400	・総務省、全国市町村研修財団への派遣終了に伴う減 ・積算内容を精査	・財務部査定のとおりに
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	510		△ 510				
	一般財源	26,690	23,046	△ 3,644	22,400	22,400		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	21200	退職年金等給付事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	根拠計画	市長公約
	種別			款	2	総務費			
担当課	企画管理部 総務課	内線	2475	項	1	総務管理費	分野	実施計画事業	H27実施計画額
				目	12	恩給及び退職年金費	施策概要		

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象) 退職者	どうしたいのか (意図)	・適正な退職年金の給付が受けられるようにする。	概要	事業の実施手法(手段)	・対象者への退職年金の給付、負担金の支出
	対象者数	1人				

2 事業の推移・結果 (Do)

H25実績	対象者1名への退職年金の給付と恩給組合への負担金の支出							
成果面	算出根拠等	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
				目標値				
				実績(見込)				
			達成率(%)					
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価 (Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH26対応状況			
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	拡大	今後も適正な給付を行う。
		縮小	
	○ 維持・改善	廃止検討	(担当課評価に同じ)
		拡大	
	縮小		
	廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出 (千円)		(A)	1,936	1,749	1,828	1,700
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,936,000	1,749,000	1,828,000	1,700,000
	受益者	退職者	(B)	1	1	1	1

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・市職員退職金条例に基づく年金の給付(退職年金1名) ・岐阜県市町村職員共済組合に対する恩給組合負担金	要求のポイント	事業実施の課題
------	--	---------	---------

事業費 (人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,828	1,700	△ 128	1,696	1,696	・要求どおり	・財務部査定のとおりに
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,828	1,700	△ 128	1,696	1,696		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	21400	行政事務電算化推進事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画		市長公約
	種別			款	2	総務費		基本分野	5			
担当課	企画管理部 総務課		内線	項	1	総務管理費	分野	6	情報	実施計画事業	行政事務電算化推進事業	
	2457			目	14	情報化推進費		施策概要	3		電子市役所の推進	H27実施計画額

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民、職員	どうしたいのか(意図)	・情報通信技術を活用し、利便性を向上させる ・住民情報を使用した大量の事務処理を、電算機器の活用により短期間かつ正確に実施する	概要	事業の実施手法(手段)	・電算システム及びネットワークの整備、維持管理、効果的な運用を実施する ・市税賦課や納税通知書の帳票印刷などの行政事務の電算処理を外部へ委託する
	対象者数	91,605 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績

- ・電算システムのソフト保守、機器保守及び賃貸借
- ・情報セキュリティ監査の実施
- ・住民基本台帳法の改正に伴う住民情報システム及び住民基本台帳ネットワークシステムの改修
- ・WindowsXPからWindows7等への移行
- ・市税、軽自動車税等の納税通知書、選挙人名簿帳票、課税台帳等の印刷、封入封緘作業など

成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
					実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)	実績(見込)
活動指標	電算システム保守業務	算出根拠等	件	目標値	33	33	33	33
				実績(見込)	33	33	33	33
活動指標	セキュリティ監査実施対象部署数	算出根拠等	課	目標値	10	12	12	11
				実績(見込)	10	13	12	11
成果指標	オンラインシステムを利用した手続き件数 (図書貸出予約、スポーツ施設利用予約、地方税申告手続(エルトックス)等)	算出根拠等	件	目標値	90,000	90,000	90,000	90,000
				実績(見込)	42,549	45,338	47,000	47,000
活動指標	大量事務処理委託業務数 (固定資産税業務、選挙人名簿帳票印刷等)	算出根拠等	件	目標値	17	18	18	17
				実績(見込)	17	18	17	17
補足	算出根拠等	達成率(%)		目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等	達成率(%)			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等	達成率(%)			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等	達成率(%)			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等	達成率(%)			目標値				
				実績(見込)				

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・システム更新の際は、仮想サーバに集約できないか検討し、コスト削減を図る必要がある。 ・電算システム機器の維持管理の外部委託について、業務の効率化や費用対効果を踏まえながら検討する。 ・更なるコスト削減のため、電算処理内容の再検討や、処理件数の削減、事業の集約化に取り組む必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・今年度の機器更新では、仮想サーバやネットワーク機器の大部分が対象となっており、確実な更新を実施する。 ・合わせて、機器更新の際に、更新対象システムを仮想サーバに集約できないか検討し、コスト削減を図る。 ・平成26年10月に予定している、現行の住民情報システムや財務会計システム等の後継システムである「総合行政情報システム」への移行を確実に実施する。 ・総合行政情報システムへの移行に伴い、一部の帳票印刷などの電算処理を外部委託することなく自庁で処理することが可能となるため、コスト削減が図られる。
担当課評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
二次評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
次年度の実施方針	・計画的な整備により、適切な運用管理を実施する。 ・総合行政情報システム導入による事務処理の簡素化等や事業の集約、削減など更なる見直しを行い、適切な事務処理を実施する。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	308,185	303,441	440,985	396,812
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,319	3,295	4,814	4,332
	受益者	(B)	92,861	92,097	91,605	91,605

5 予算編成(Action2)

事業内容	・電子自治体の推進、行政事務の電算化を推進する。 ・電算システム及び情報ネットワークの整備、維持管理、効果的な運用を行い、市民サービスの向上と事務の効率化を図る。 ・大量行政事務データ一括電算処理業務を委託する。	要求のポイント	・社会保障番号制度対応にかかるシステム改修 ・文書管理システムの導入(H28年度運用開始) ・総合行政情報システムの導入による電算処理委託業務の減	事業実施の課題	・システム異常時においても迅速で最善な対応ができるよう保守業者等との連携強化 ・サーバの集約化や仮想化による維持費等の削減の検討 ・電算処理業務におけるコストの削減
------	--	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		440,985	396,812	△ 44,173	394,881	394,881	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金	17,700	23,795	6,095	32,841	32,841		
	県支出金	4,800		△ 4,800				
	その他	1,800	2,275	475	2,750	2,750		
	一般財源	416,685	370,742	△ 45,943	359,290	359,290		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	24100	選挙管理委員会運営費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	根拠計画	市長公約
	種別			款	2	総務費			
担当課	選挙管理委員会事務局		内線	項	4	選挙費	分野	実施計画事業	千円
	2453			目	1	選挙管理委員会費		H27実施計画額	
				総合計画			施策概要		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	有権者	どうしたいのか(意図)	円滑な選挙執行	概要	事業の実施手法(手段)	地方自治法、公職選挙法に基づいた委員会の開催 住民情報等の的確な処理による選挙人名簿の調製
	対象者数	74,249 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		<ul style="list-style-type: none"> 選挙管理委員会の開催 5回 選挙人名簿定時登録 4回 						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	選挙管理委員会の開催数	回	目標値	5	5	5	5
				実績(見込)	5	5	5	
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	選挙管理委員会の更なる円滑な運営
--------------------------	------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		<ul style="list-style-type: none"> 選挙管理委員会の円滑な運営 選挙人名簿の適正な調製
次年度の実施方針	担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	1,547	1,768	1,961
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	21	24	26
	受益者	有権者	(B)	75,154	74,722	74,249

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 選挙管理委員会の円滑な運営 選挙人名簿の適正な調製 	要求のポイント	事業実施の課題
------	--	---------	---------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,961	1,961	0	1,953	1,953	要求どおり	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	10	10	0	10	10		
	その他			0				
	一般財源	1,951	1,951	0	1,943	1,943		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	24200	選挙常時啓発事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	根拠計画	市長公約
	種別			款	2	総務費			
担当課	選挙管理委員会事務局	内線	2453	項	4	選挙費	分野	実施計画事業	千円
				目	2	選挙啓発費	施策概要	H27実施計画額	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	有権者	どうしたいのか(意図)	・円滑な選挙執行	概要	事業の実施手法(手段)	・選挙啓発ポスターコンクールの開催 ・新成人への啓発冊子、誕生日新聞等の配付
	対象者数	74,249 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい選挙啓発ポスターの募集・表彰 ・新成人の選挙意識調査の実施 ・新成人に対する啓発活動(啓発冊子の送付、誕生日の新聞の送付) 							
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動 指 標	ポスターコンクール応募数	点	目標値	20	20	20	20
				実績(見込)	12	16	5	
				算出根拠等 実績	達成率(%)	60	80	25
	活動 指 標	新成人への啓発	人	目標値	900	800	800	800
				実績(見込)	810	840	800	
				算出根拠等 実績	達成率(%)	90	105	100
	成果 指 標	投票率 (H24知事、H25参議院、H26市長 H27市議)	%	目標値	50	70	80	80
				実績(見込)	44	62		
				算出根拠等	達成率(%)	88	88	
	成果 指 標			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
成果 指 標			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
補 足			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	・事業内容の周知方法を充実させ、選挙に対する関心を高める必要がある。
--------------------------	------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・事業内容の周知方法を充実させ、選挙に対する関心を高める。 ・選挙啓発ポスターコンクールは、全国又は県コンクール出品への第一次選考であるため、継続して実施する。		
次年度の実施方針	担当課評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	事業内容の周知を図り、効果的な啓発活動を行い、選挙に対する関心を高める。
	二次評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	347	318	480	480
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	5	4	6	6
	受益者	有権者	(B)	75,154	74,722	74,249	74,249

5 予算編成(Action2)

事業内容	若年層を中心とした選挙等に対する関心を高める。 ・選挙啓発ポスターコンクールの開催 ・新成人への啓発冊子、誕生日新聞等の配付	要求のポイント	事業実施の課題	事業内容の周知方法を充実させ、選挙に対する関心を高める。
------	--	---------	---------	------------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		480	480	0	480	480	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	480	480	0	480	480		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	24308	県議会議員選挙費	予算	会計	1 一般会計	基本目標	根拠計画	市長公約
	種別			款	2 総務費			
担当課	選挙管理委員会事務局	内線	2453	項	4 選挙費	分野	実施計画事業	千円
				目	3 岐阜県議会議員選挙費	施策概要	H27実施計画額	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	有権者	どうしたいのか(意図)	円滑な選挙執行	概要	事業の実施手法(手段)	・投票事務
	対象者数	74,249 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	投票所数	算出根拠等	カ所	目標値				82
				実績(見込)				
				達成率(%)				
活動指標	開票時間	算出根拠等	分	目標値				90
				実績(見込)				
				達成率(%)				
成果指標	投票率	算出根拠等	%	目標値				75
				実績(見込)				
				達成率(%)				
成果指標	算出根拠等	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
成果指標	算出根拠等	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
成果指標	算出根拠等	算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

H25決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善
	二次評価	拡大
		縮小
		廃止検討
		維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
		歳出(千円)		(A)		
	受益者1件当たり(円)		(A/B)			304
	受益者	有権者	(B)			74,249

5 予算編成(Action2)

事業内容	岐阜県議会議員選挙の執行 (平成26年4月予定)	要求のポイント	事業実施の課題
------	-----------------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	22,570	22,570	21,700	21,700	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金		22,570	22,570	21,700	21,700		
	その他			0				
	一般財源			0				

平成27年度 事業別予算概要

事業名	24306	市議会議員選挙費	内線	2453	予算	会計	1	一般会計	基本目標		根拠計画		市長公約
	款					2	総務費	基本分野					
担当課	選挙管理委員会事務局					項	4	選挙費	分野		H27実施計画額	千円	
						目	4	市議会議員選挙費	施策概要				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	有権者	どうしたいのか (意図)	・円滑な選挙執行	概要	事業の実施 手法(手段)	・投票事務
	対象者数	74,249 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H25実績		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	投票所数	算出根拠等	カ所	目標値				82
				実績(見込)				
				達成率(%)				
活動指標	開票時間	算出根拠等	分	目標値				150
				実績(見込)				
				達成率(%)				
成果指標	投票率	算出根拠等	%	目標値				75
				実績(見込)				
				達成率(%)				
補足		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
補足		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				

3 分析・評価 (Check)

H25決算における 分析・評価で 明らかになった課題	
----------------------------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対する H26対応状況		
次年度 の実施方針	担当課 評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次 評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)		(A)			63,990
	受益者1件当たり(円)		(A/B)			862
	受益者	有権者	(B)			74,249

5 予算編成 (Action2)

事業内容	市議会議員選挙の執行 (平成26年4月予定)	要求のポイント	事業実施の課題
------	---------------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)			63,990	63,990	61,000	61,000	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源		63,990	63,990	61,000	61,000		